

「これからの地域づくりに関するアンケート調査」 調査報告書



目次

1. はじめに 01

2. 調査概要 01

3. アンケート調査結果 02

4. ヒアリング調査結果 04

5. まとめと展望 05

6. アンケート調査データ 06

7. 自由記述欄 19

・01・ はじめに

日本社会は前例のない高齢化・人口減少社会に突入し、社会のさまざまな領域に多大な影響を及ぼしている。その中でも、特に東北の人口減少率は著しく、6 県すべてにおいて高い割合で人口減少している。

葛巻町も例外ではなく、岩手県の市町村の中で人口減少率の高い地域のひとつになっている。最初の国勢調査が行われた大正 9 年から平成 27 年までの 95 年間の人口動向を見ると、昭和 35 年までの 40 年間に約 5,500 人増加し、その後反転して約 9,600 人の減少となっている。（参考「葛巻町 まち ひと しごと創生 人口ビジョン総合戦略 2015」）

一方、葛巻町では人口の社会増を目指し、移住定住施策などさまざまな取組が行われている。本調査は、これからの地域づくりを目的に、葛巻町民の関係人口・移住定住に関する認識等を把握・調査することにある。また、次年度以降の葛巻町の取組や移住者の受入環境整備に活かせるように提案を行うものである。

・02・ 調査概要

○ アンケート調査目的

生活や考え方、地域に対する考え方、移住定住等に関する現状を把握し、次年度以降の町の 取組や、移住者の受入環境整備に活かせる情報とすること。

○アンケート調査結果の概要

調査期間	2021 年 8 月中旬～8 月末											
対象	830 世帯											
回収率	約 26%											
性別	男性 48.3% 女性 49.8% 答えたくない 1.9%											
主な職業	自営業、またはその手伝い 16.5% 民間企業・団体の経営者、役員 1.5% 民間企業・団体の勤め人 14.1% 公務員・教員 8.7% 臨時・パート勤め人 12.6% 学生 0% 無職 35.9% 専業主婦・主夫 9.2% その他（すずらん工房・判読不可・老人）1.5%											
居住形態	持ち家（一戸建て）85.2% 民間の借家（一戸建て、集合住宅）7.7% 社宅、職員住宅 1.9% 公営の借家（町営住宅など）4.3% 借間、下宿住み込み、寄宿舍、独身寮など 1%											
通算居住年数	1 年未満 1.9% 1 年以上～5 年未満 4.8% 5 年以上～10 年未満 2.4% 10 年以上～20 年未満 1.4% 20 年以上 89.5%											
今後も住み続けたい	住み続けたい 62.7% どちらでもいい 31.6% 地域外に引っ越したい 5.7%											
同居している家族の人数	1 人 27.3% 2 人 43.9% 3 人 17.1% 4 人 4.9% 5 人 4.4% 6 人以上 2.4%											
同居家族	夫婦だけ（一世代）50.3% 親と子（二世帯）37.3% 親と子と孫（三世帯）9.2% その他（配偶者と子供 夫婦と母親 自分 1 人 兄弟）3.5%											
回答者 満年齢	19 歳以下	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40～44 歳	45～49 歳	50～54 歳	55～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70 歳以上
総計（人）	0	3	5	1	2	10	7	13	20	30	30	90

○ ヒアリング調査目的

実際に関係人口に関わっている町民や移住した町民の方、葛巻町役場の職員の方から関係人口や移住定住に関するヒアリングを行い、今後、関係人口や移住定住を促進するための示唆を得ること。

・03・ アンケート調査結果

【調査結果① 移住や交流に関する項目について（問 3）】

全体的に関係人口や移住定住へ好印象を持っている（図 45,49）。また、様々な人材や地域 外の人がまちづくりに関わることへの必要が高いと感じており（図 44）、地域内外を巻き込 んでまちづくりをするための基盤が醸成されていると考える。また、町の移住定住施策への 町民の認知度も高かった（図 50）。

問3-(1) 最も近いものを1つ選び、○をつけて下さい

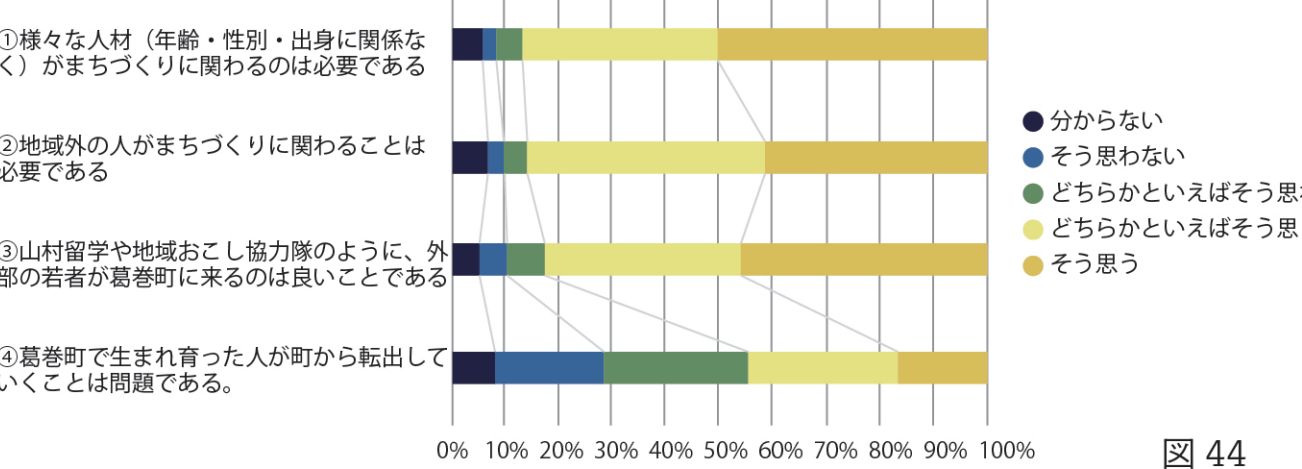


図 44

まちづくりには①様々な人材（年齢・性別・出身に関係なく）、②地域外の人、③外部の若者という様々な人々の関わりが必要であるという結果を得られた。

【調査結果② 社会関係資本に関する項目について（問1（1）（2）（7）問2（2））】

葛巻町は岩手県・全国平均と比べて同等か高い数値となった。「一般的に人を信頼できる」と「他の土地からやってきた人を信頼」できることは相関関係があり、一般信頼が高い人は、他の土地からやって来る人を信頼できる傾向にある。

※社会関係資本（ソーシャル・キャピタル）社会関係資本とは、他者への「信頼」や「互酬性の規範」、人と人との間のつながりである「ネットワークを指す言葉」。社会関係資本はコミュニティにおける犯罪率や健康などに関係していると考えられている。

【調査結果③ 幸福度に関する項目について（問1（3）（4）（5）（6））】

主観的幸福度は岩手県平均よりも高かった（図23）。その他の項目についても岩手県平均と同等か高く、幸福かどうか判断する際に重視した項目については健康状況、家計状況、充実した余暇が上位3つだった（図24）。

【調査結果④ 町への貢献意識に関する項目について（問2（1））】

①地域の自然環境の保全、②町の文化・伝統の継承・発展、③人の成長や教育、④この町での生活（農業や漁業がある暮らし）の次の世代への継承の全項目において、貢献している／貢献したいと思うと回答した割合が過半数を超えた。

【調査結果⑤ シビックプライドに関する項目について（問2（3））】

地域参画の「自分は地域社会に変化を起こすことができると思う」「自分のような人間が地域社会で重要な役割を果たすと思う」は、そう思う／どちらかといえばそう思うと回答した割合が比較的低くなっている。自己有用感が低い可能性が考えられる。

※シビックプライド

シビックプライドとは、住民の町への誇りを指す言葉。「この町をより良い場所にするために自分自身が貢献している」「自分がこの町の未来をつくっている」等の当事者意識を伴う自負心のことをいう。こうしたシビックプライドを持つ住民には、まちづくりへの積極的な参画が期待できる。

・04・ ヒアリング調査結果

【ヒアリング調査概要】

調査期間 … 2021年12月1日～2日

調査人数 … 7人

【関係人口や移住定住に関していただいた声】

・葛巻町役場の職員の方

—大学生世代は町に少ない世代。地域づくりに参画する意識が育ち、そこから移住者が増えてきたら嬉しい

—単純に人が減っているから移住者が欲しいというわけではなく、様々な面で町に活力をもたらしたい

・移住者Aさん（Uターン）

—毎年20世帯くらいが移住しているのは知らなかった。もっと知らせてほしい

—移住者が来てくれるのは大賛成。移住者が就職できる産業を作るのが大切ではないか

・移住者Bさん（Uターン）

—移住者を受け入れるにあたっては、お客様にならないようにすることが大切。共存できるようにお互いにバランスをとる必要がある

・移住者Cさん（Uターン）

—葛巻に戻ってきたときに「葛巻ってこんなだった？」と思った（出る杭は打たれる空気がある）

—関係人口や移住者が増えるために町民ができることは、地域の集まりに誘ってあげるなど、人間関係をつくる協力をする

・移住者Dさん

—町に不動産屋はないが、最初に案内してくれた行政の担当者は良い人だった。町の移住定住施策があったから、というのではなく自然環境がいいからという理由で移住している

—人口はどうしたって減る。葛巻町に住みたいと思う人が住めばいい

・移住者 E さん
— 葛巻は人がとてもいいし、優しくしてもらえるので好き
— 本当にその土地と関わりたいとか好きという気持ちは伝わると思うので、そういう気持ちが伝われば町の人から拒否されることはないと思う

・ 05 ・ まとめと展望

【アンケート調査について】
社会関係資本・幸福度についてはおおむね岩手県平均と同等かそれよりも高い結果が出た。
町への貢献度やシビックプライドについては比較することは難しいが、おおむね町への貢献意識や誇りは高いと考えられる。移住や交流についての意識は全体的に関係人口や移住定住へ好印象を持っていることが分かった。

【ヒアリング調査について】
葛巻町は、岩手県内では移住者が多い町ではあるが、移住してきているという実感があまりない。毎年移住者がいるということを知らせると同時に、移住者と町民が共存できるように地域コミュニティの中で移住者を受け入れられるように調整することが大切である。
また、基本的に人口減少していくことは避けられないので、関係人口を呼び込み、様々な人が葛巻町に関わり続けてくれる状態を作ることが町を活性化させるために必要なことではないか。

・ 06 ・ アンケート調査データ

問 1 生活や考え方等に関する項目

問 1 - (1) あなたは現在、以下の活動をされていますか

① 地縁的な活動（自治会、町内会、婦人会、老人会、青年団、子ども会など）（回答数：209）

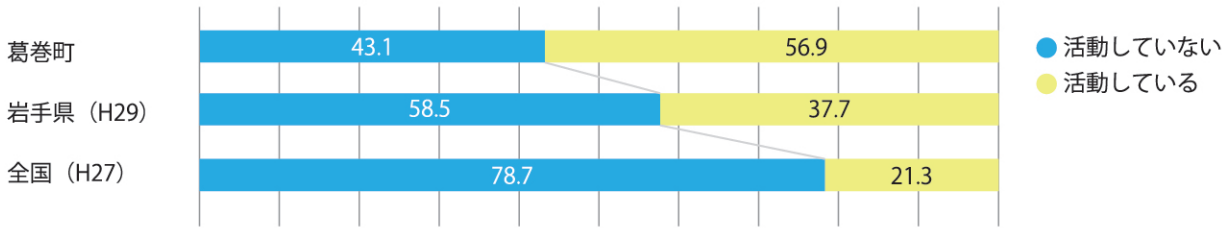


図 1

② スポーツ・趣味・娯楽活動（各種スポーツ、芸術文化活動、生涯学習など）（回答数：204）

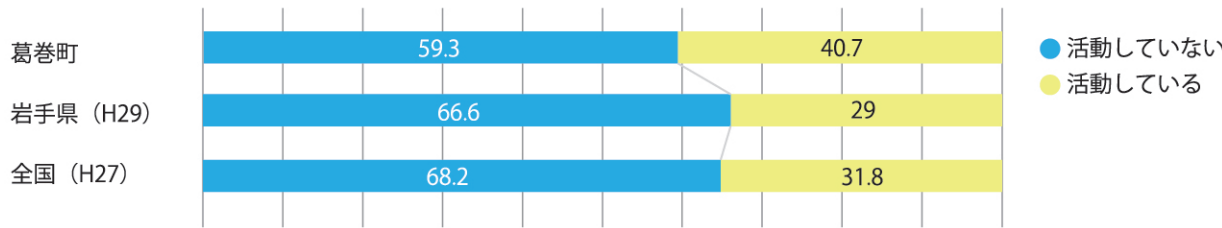


図 2

③ ボランティア・NPO・市民活動（高齢者・障がい者福祉や子育て、スポーツ指導、美化、防犯・防災、環境など）（回答数：205）



図 3

問 1 - (2) あなたは、①ご近所の方、②友人・知人、③親戚・親類とどのようなおつきあいをされていますか

① ご近所の方（回答数：210）

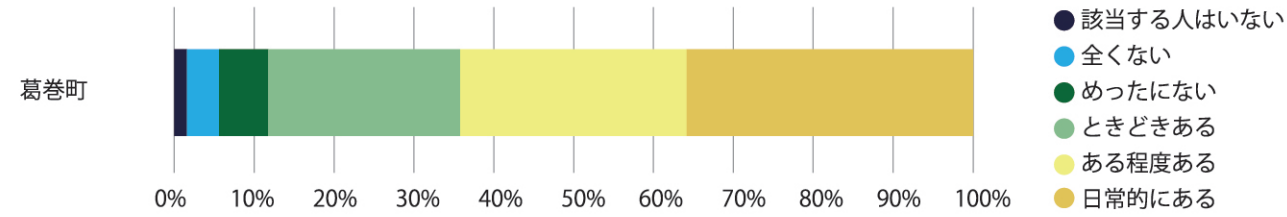


図 4

② 友人・知人（回答数：205）

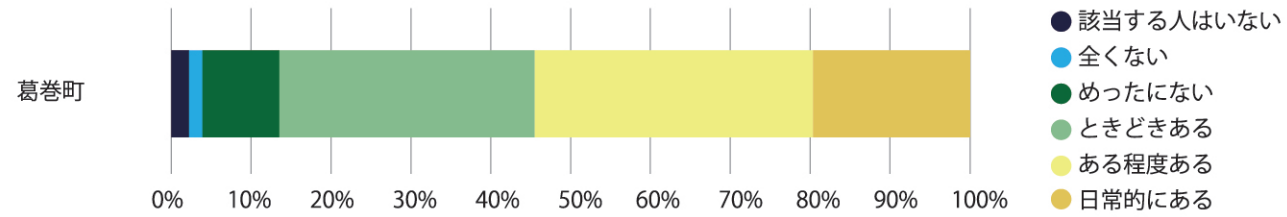


図 5

③ 親戚・親類（回答数：206）

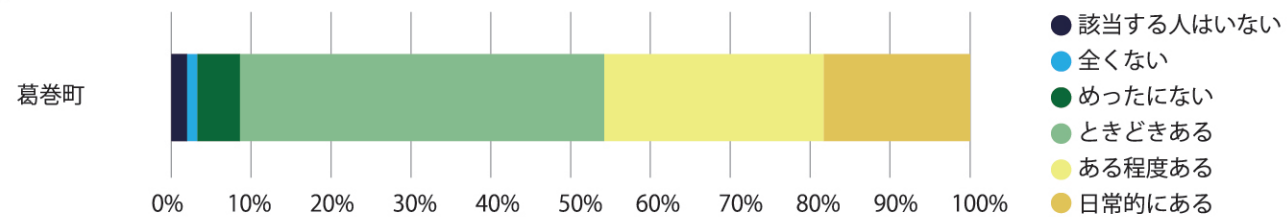
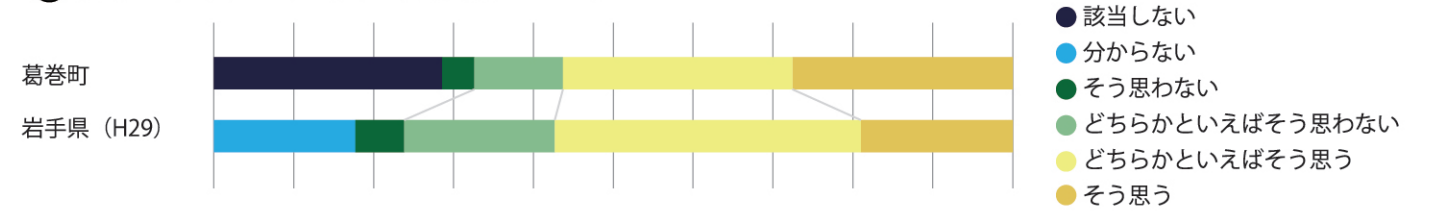


図 6

※凡例 問 1（3）

① 仕事にやりがいがある（回答数：200）



岩手県の調査では「分からない」「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」「どちらかといえばそう思う」「そう思う」の5項目で調査しているが、葛巻町の調査は「該当しない」「そう思わない」「どちらかあといえそう思わない」「どちらかといえそう思う」「そう思う」の5項目で調査した。それぞれの調査で回答項目が異なるが、便宜的に並べて結果を表示している。

問 1 - (3) 現在のあなたご自身のことについて、おたずねします

① 仕事にやりがいがある（回答数：200）

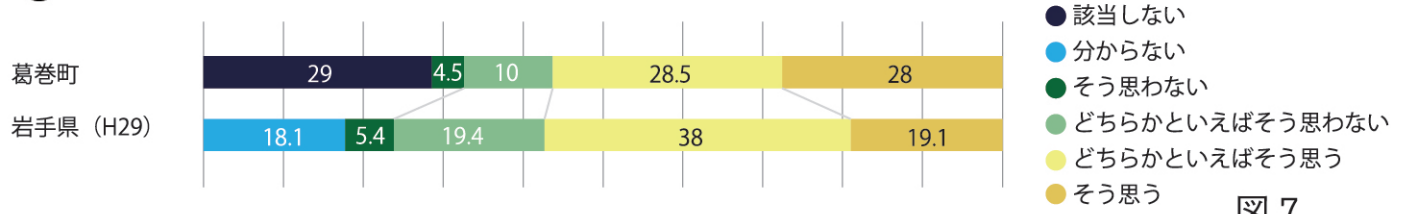


図 7

② 必要な収入や所得が得られている（回答数：206）

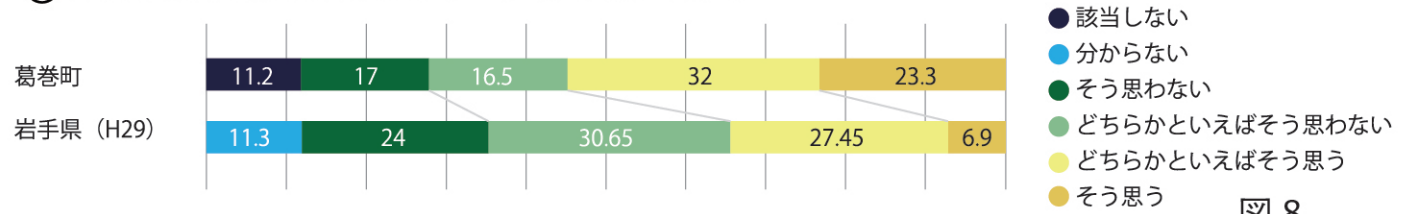


図 8

③ こころやからだ健康だ（回答数：206）



図 9

④ 家族と良い関係がとれている（回答数：206）

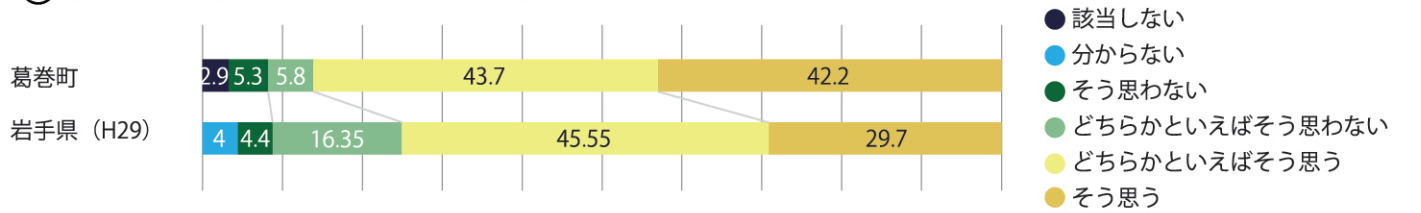


図 10

⑤ 子育てがしやすい（回答数：197）

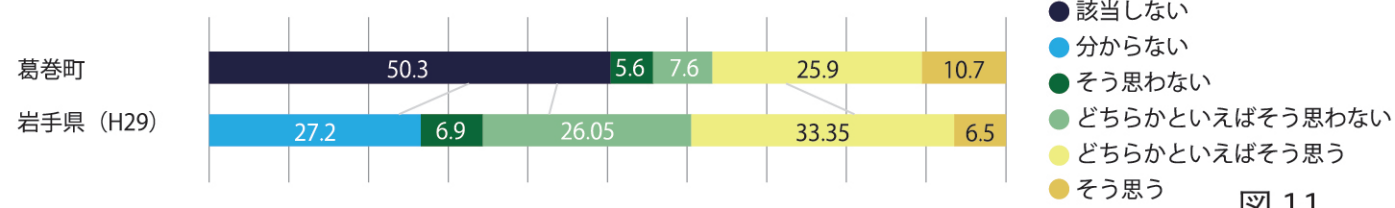


図 11

⑥ 住まいが快適だ（回答数：205）

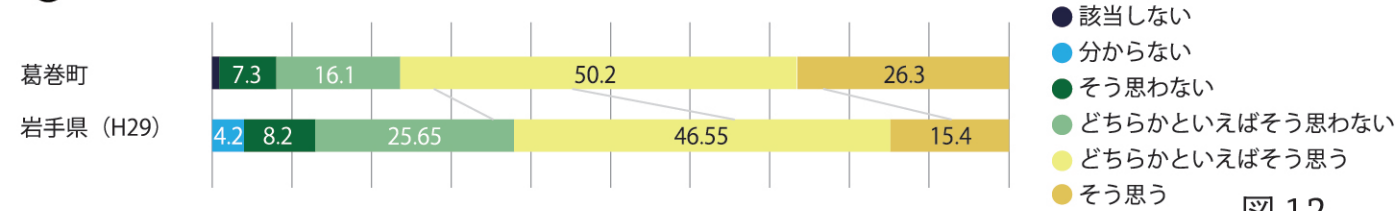


図 12

⑦ お住まいの地域は安全だ（回答数：207）

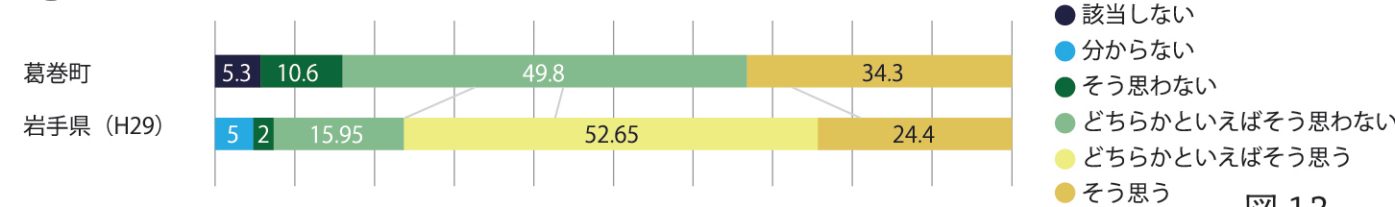


図 13

⑧ 新しい事を始めやすい（回答数：205）

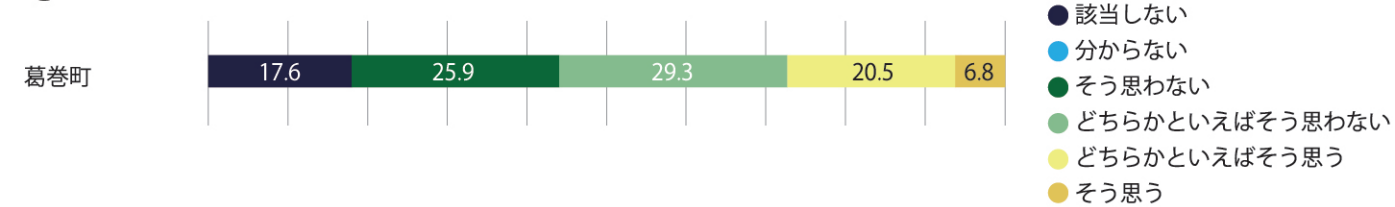


図 14

⑨ 地域社会とのつながりがある（回答数：205）

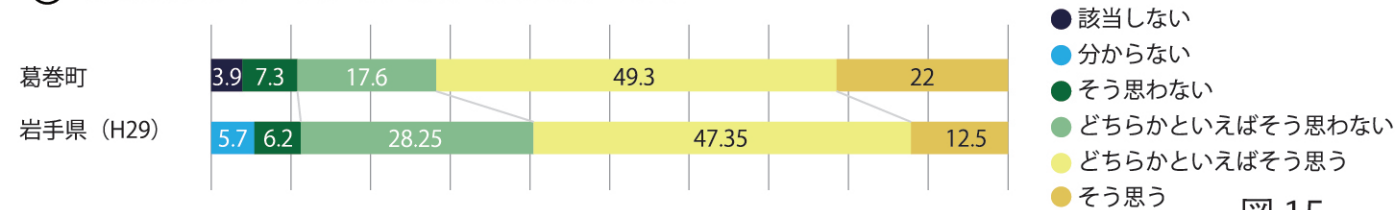


図 15

⑩ あなた自身が学習する環境が充実している（回答数：208）

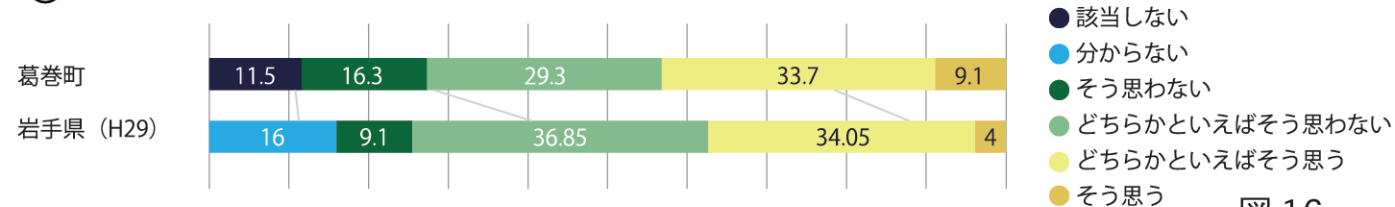


図 16

⑪ 新しい情報や知識を得やすい（回答数：206）

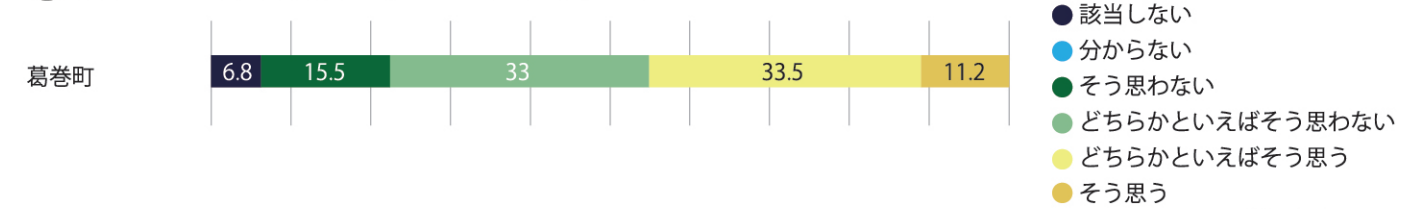


図 17

⑫ 子どものためになる教育が行われている（回答数：201）

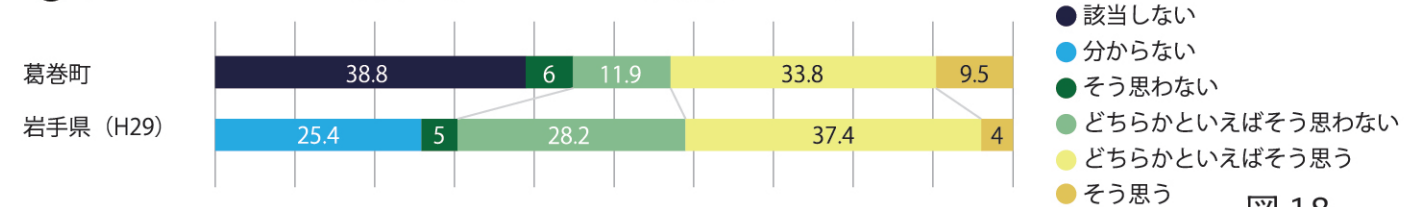


図 18

⑬ 地域の歴史や文化に誇りは持てる（回答数：208）

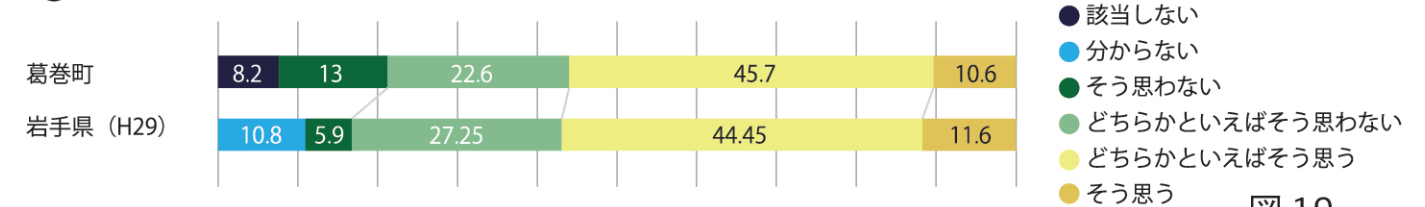


図 19

⑭ 自然に恵まれている（回答数：210）

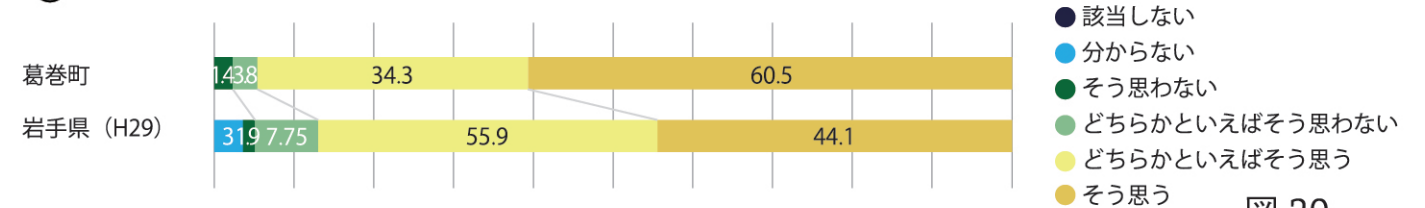


図 20

⑮ 地域の自然環境が守られている（回答数：209）

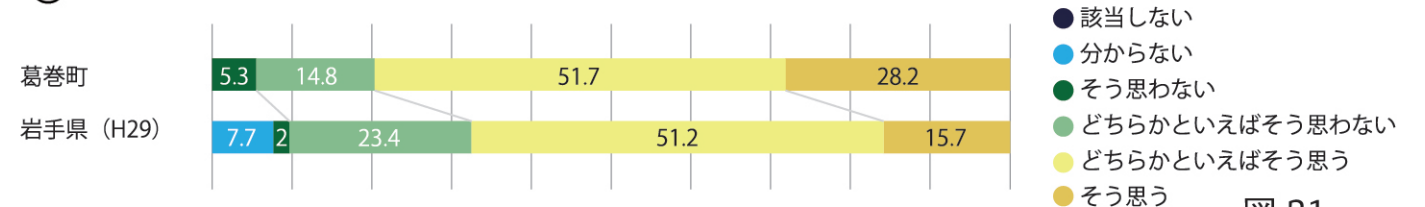


図 21

⑯ 余暇が充実している（回答数：208）



図 22

問 1 -(4) あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか (回答数：202)

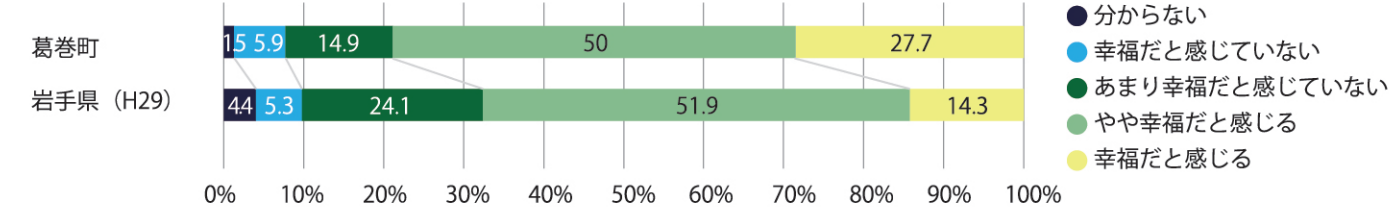


図 23

問 1 -(5) あなたが幸福かどうか判断する際に重視した事項について、上位3つを選んで番号に○をつけて下さい

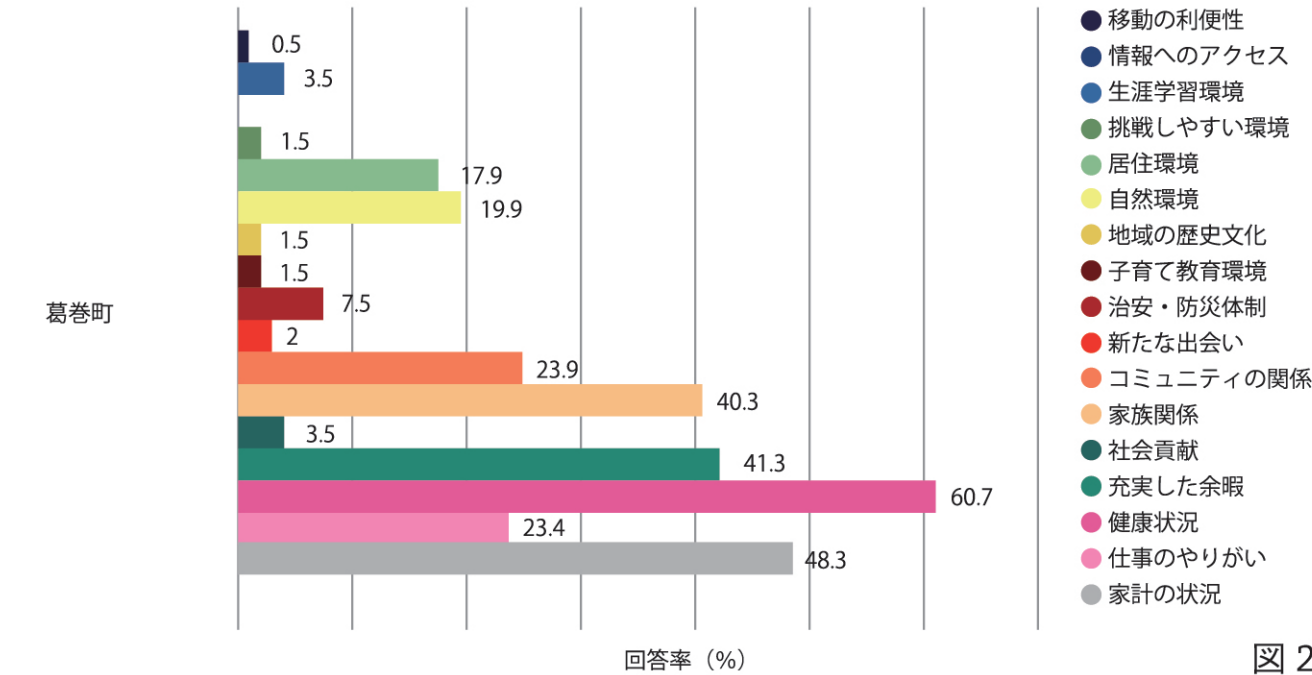


図 24

問 1 -(6) あなたの周りの人の幸福等について、あなた自身の実感をおたずねします

① 身近な周りの人が幸福である (回答数：198)



図 25

② 大切な人を幸福にしている (回答数：194)

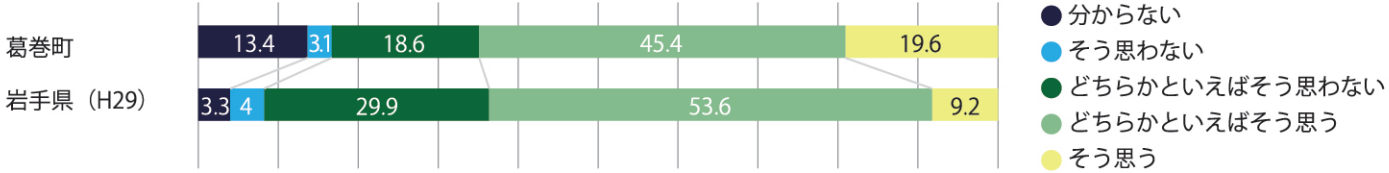


図 26

③ 周りの人たちと同じくらい幸福だ (回答数：196)



図 27

④ 安定した日々を過ごしている (回答数：193)

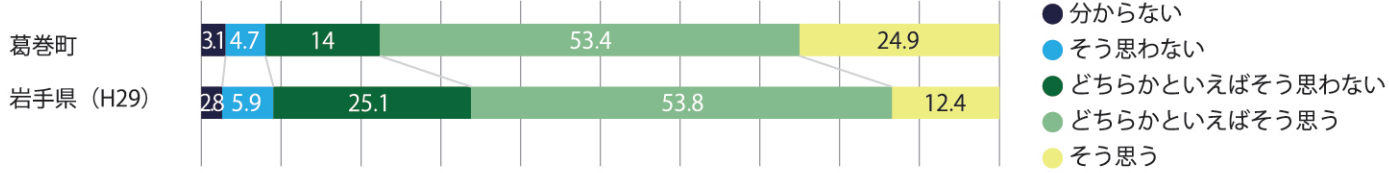


図 28

⑤ 周りの人に認められている (回答数：198)

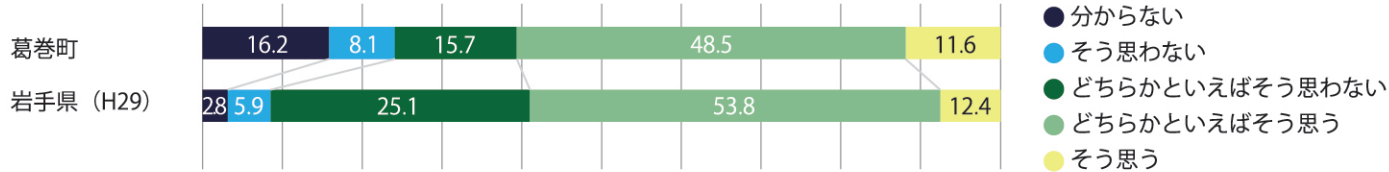


図 29

⑥ 人に迷惑をかけずに自分のやりたいことができている (回答数：201)

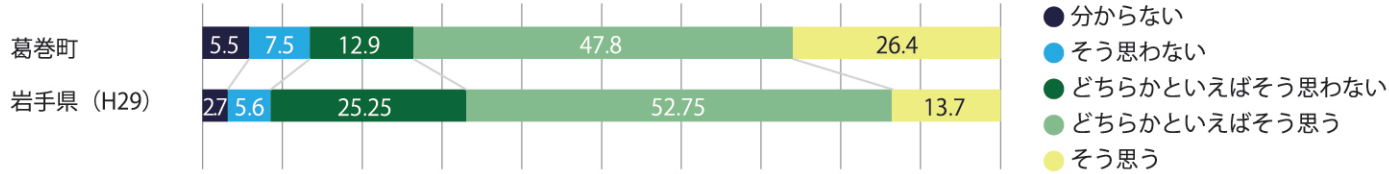


図 30

問 1 -(7) あなたは、一般的に人は信頼できると思いますか

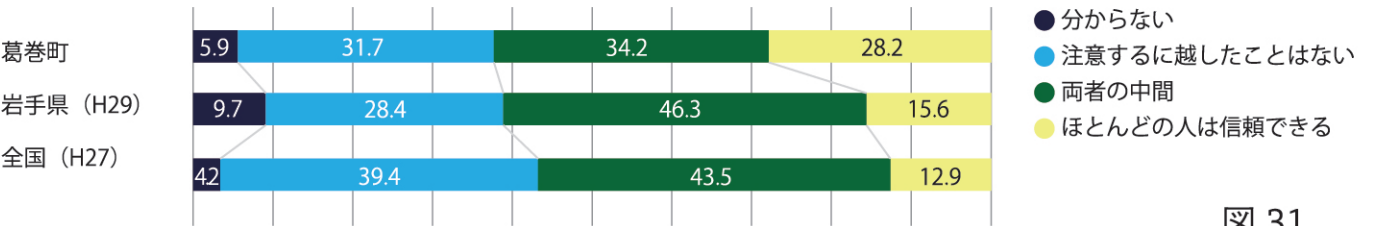


図 31

問 2 地域に対する考え方に関する項目

問 2 - (1) あなたの「町づくりや教育等についての意識」について

① 地域の自然環境の保全（回答数：201）

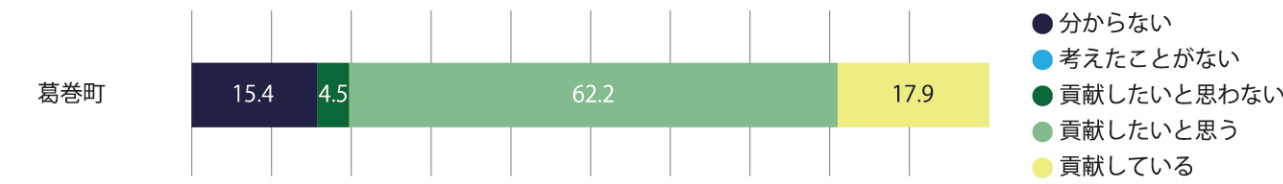


図 32

② 町の文化・伝統の継承・発展（回答数：198）



図 33

③ 人の成長や教育（回答数：198）



図 34

④ この町での生活（農業や漁業がある暮らし）の次の世代への継承（回答数：199）

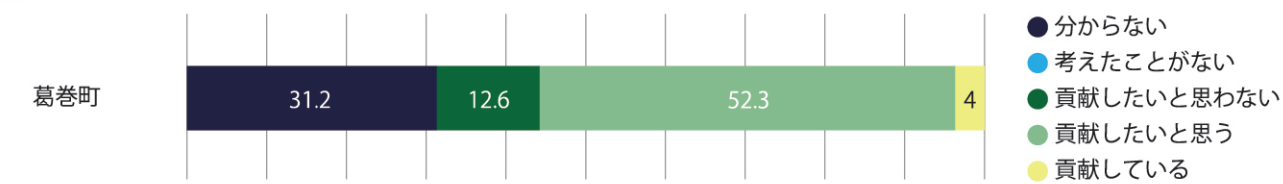


図 35

問 2 - (2) 葛巻町に対する実感をおたずねします

① 葛巻町への愛着を感じている町民が多い

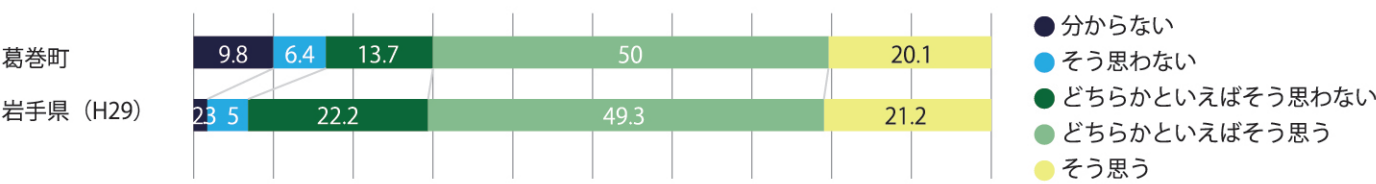


図 36

② ご近所とのつきあいは良い町民が多い（回答数：205）

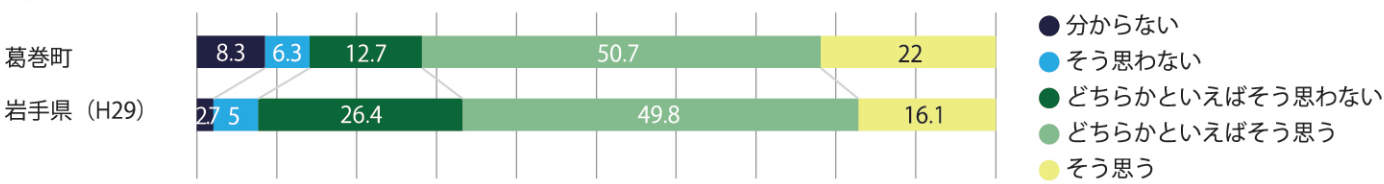


図 37

③ 信頼できる人が身近にいる町民が多い（回答数：201）

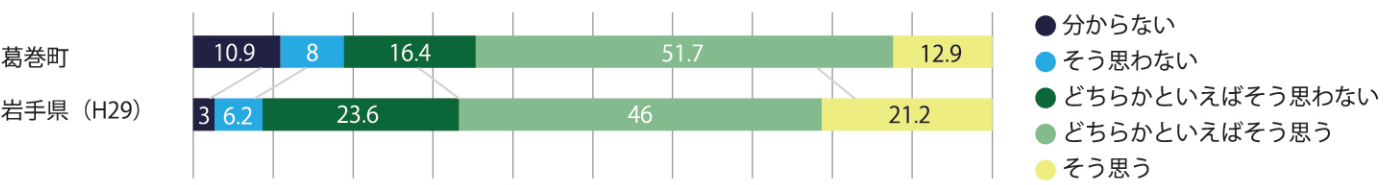


図 38

④ 地域での活動や社会貢献活動に参加できている町民が多い（回答数：200）

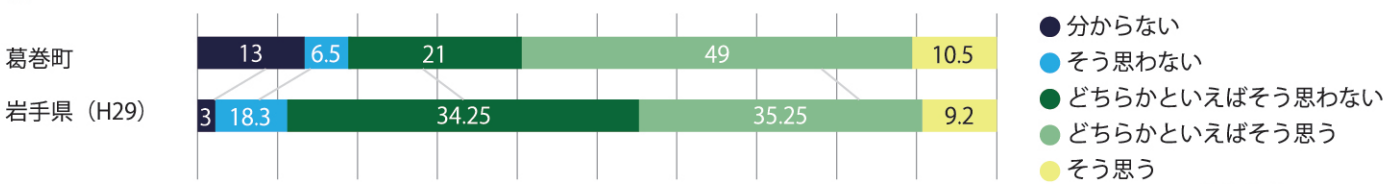


図 39

問 2 - (3) 最も近いものを1つ選び、番号に○をつけて下さい

地域参画

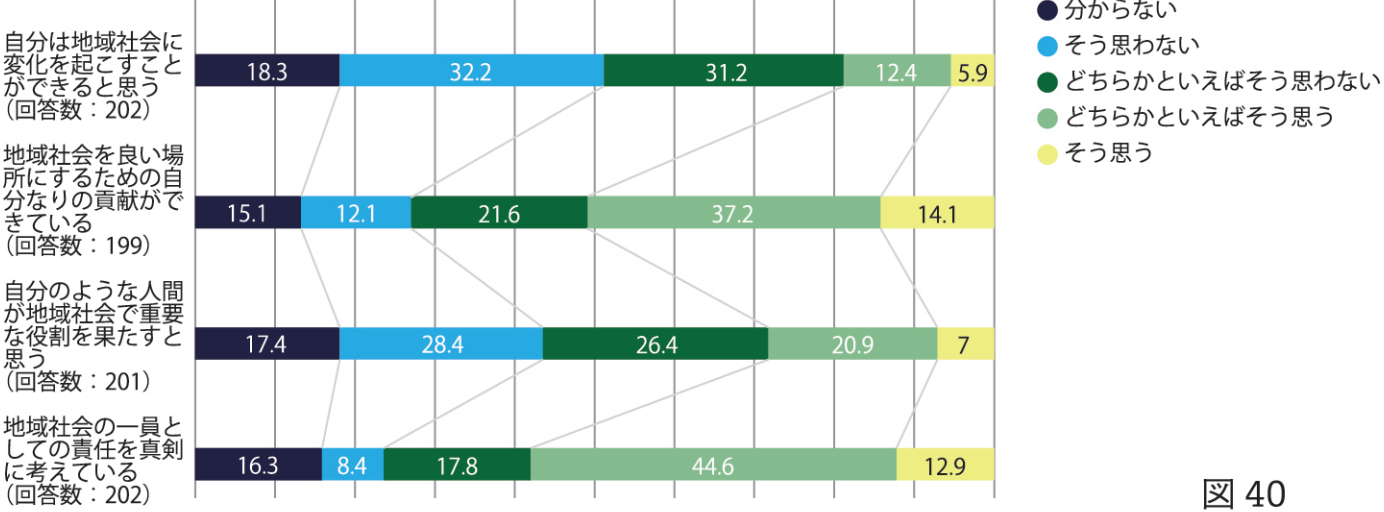
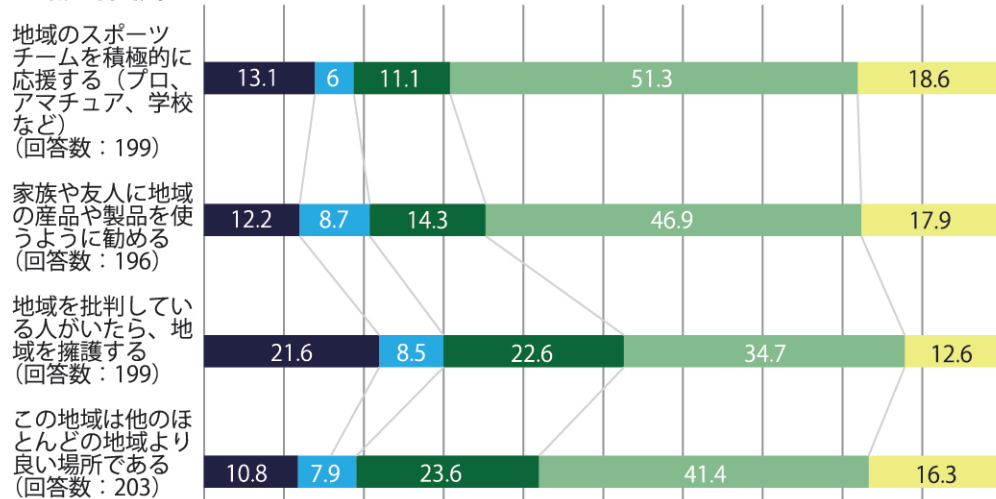


図 40

忠誠的愛郷心



- 分らない
- そう思わない
- どちらかといえばそう思わない
- どちらかといえばそう思う
- そう思う

図 41

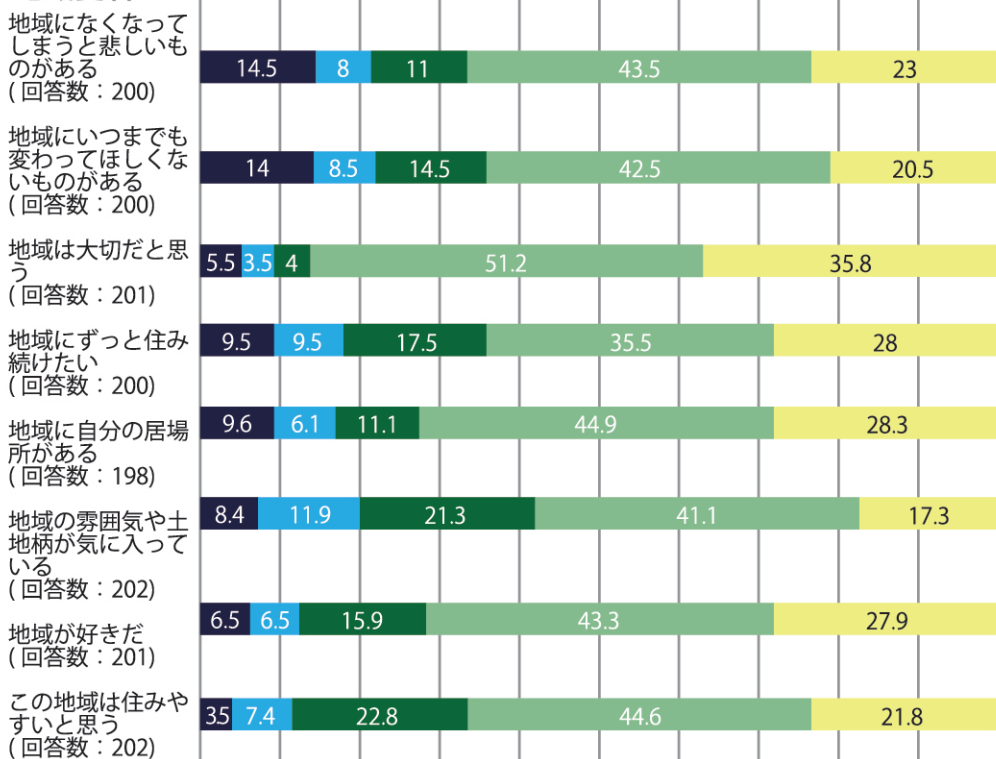
地域アイデンティティ



- 分らない
- そう思わない
- どちらかといえばそう思わない
- どちらかといえばそう思う
- そう思う

図 42

地域愛着



- 分らない
- そう思わない
- どちらかといえばそう思わない
- どちらかといえばそう思う
- そう思う

図 43

問 3 移住や交流に関する項目

問 3- (1) 最も近いものを1つ選び、番号に○をつけて下さい

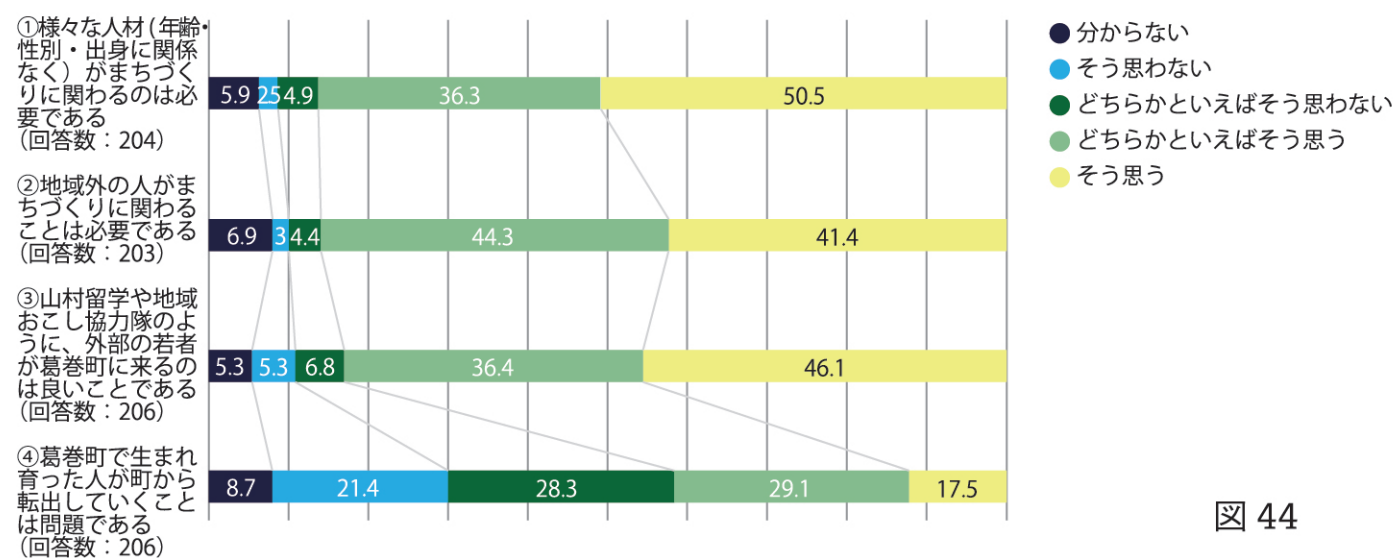


図 44

問 3- (2) 移住者が増えることに対するあなたの印象はどれですか



図 45

問 3- (3) 移住者が増えることで良い影響が期待される点について当てはまる番号全てに○をつけて下さい（回答数：208）

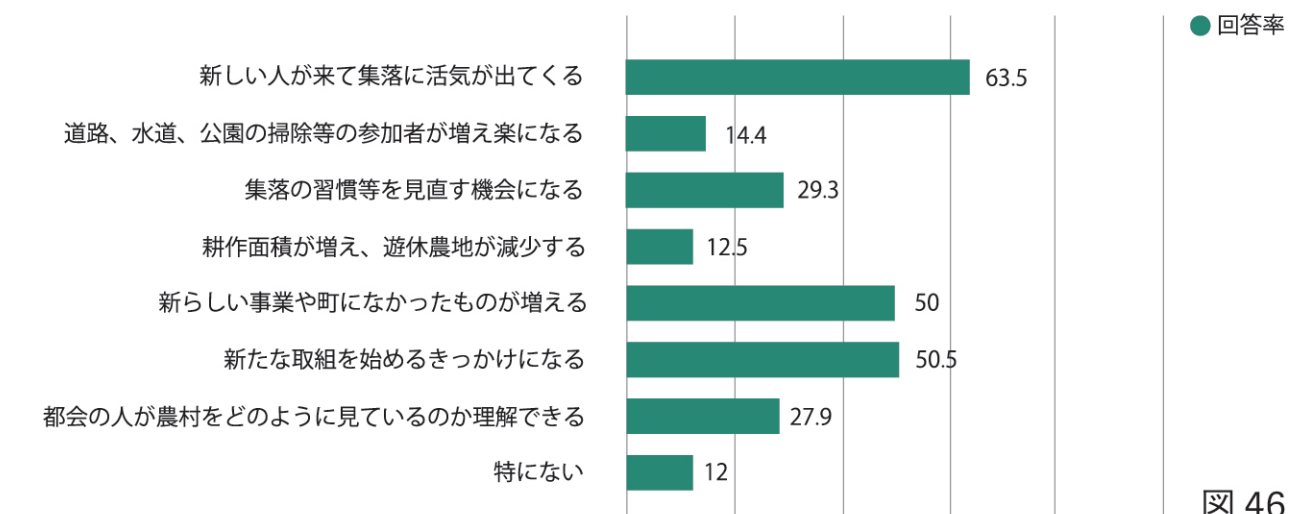


図 46

問 3- (4) 移住者との付き合いで心配だと思う点について当てはまる番号全てに○をつけて下さい
(回答数：200)

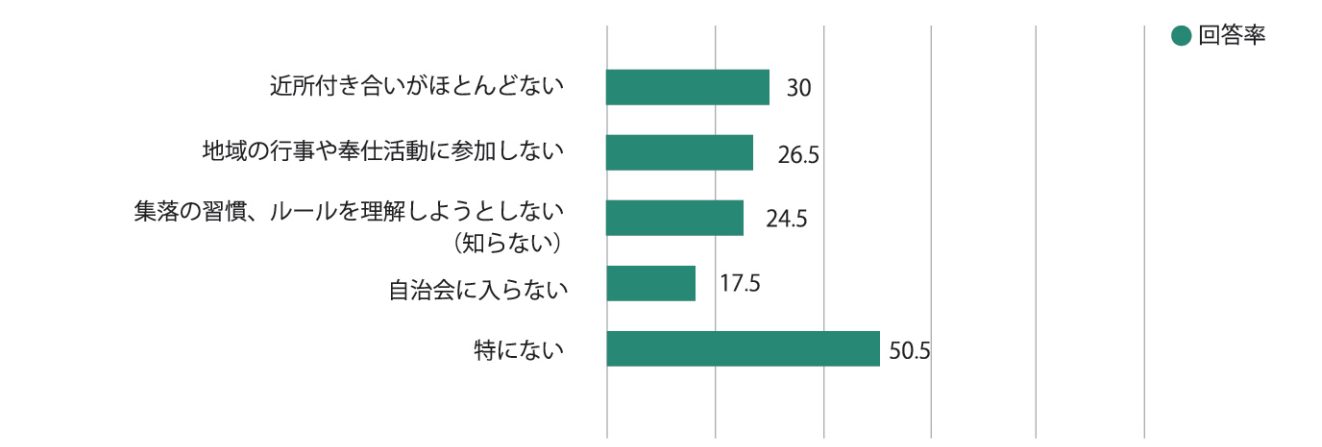


図 47

問 3 - (5) 町に人を迎えることについて、あなたの考えに最も近いものを1つ選び、番号に○をつけて下さい

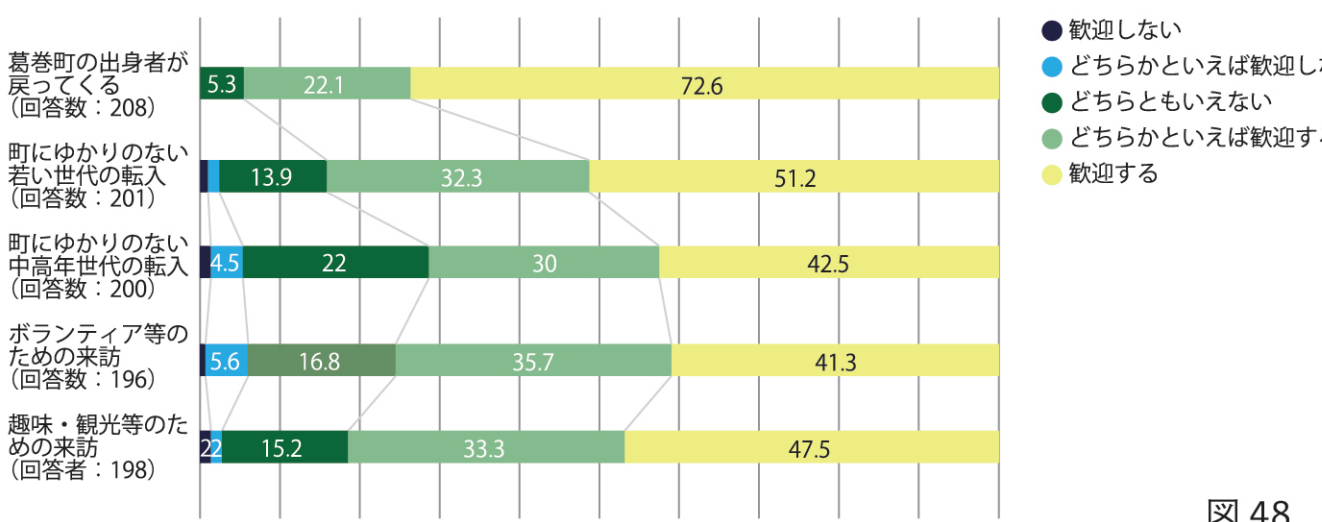


図 48

問 3 - (6) 移住はしていないが、町に通い続けてくれる人がいた場合には、関わりを持ちたいと思いますか

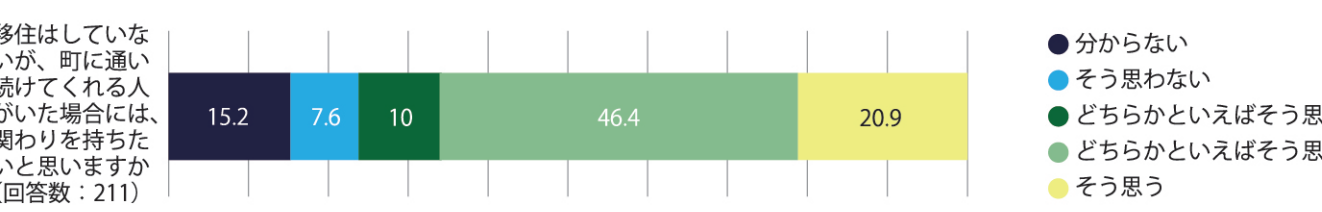


図 49

問 3- (7) あなたは、町の移住定住支援施策（定住奨励金・住宅支援等）を知っていますか

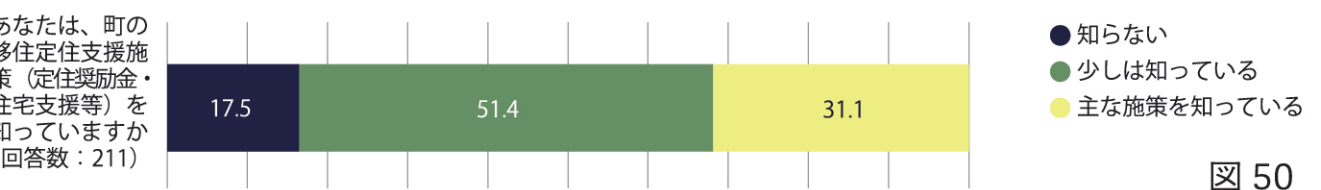


図 50

問 3- (8) あなたは、他の土地からやってきた人は信頼できると思いますか (回答数：211)

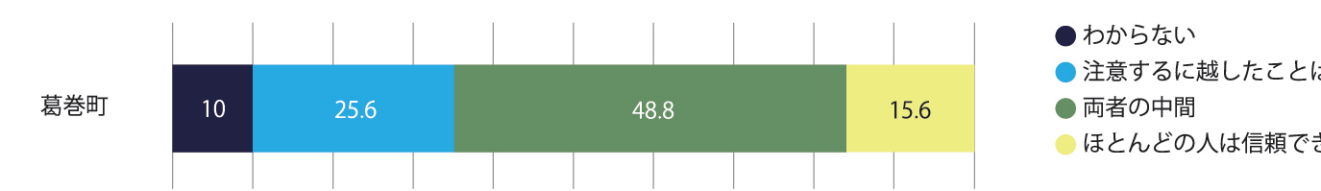


図 51

- ・町づくりをする場合にもっと地域にあった施策をすることが重要だと思います（たとえば、町においては酪農家庭減少し、遊休農地が多くなっています。のでもっと酪農や肉牛の振興に力を入れるべきと思う）また、林業についても、もっと力を入れて振興すべきだと思います。人口を増やすには産業振興が最も重要と考えております。パフォーマンスでは町づくりはできません。農林業の振興に町が最も力を入れるべきだと思います。
- ・道路が整備され、高速道路化などすれば県内でも住みやすい町となると思います。
- ・町外者が町に来ることに期待（町づくり応援隊）した時期もあった。町の視察で「先進地（他県）を見学」に行ったとき、各地区に入り（担当し）自治会地区の活性化を担っていた。特に高齢者の参加できる地域づくりで、昔の生活を再活性化し、老人にも少額の小額の活動をしてきた。これぞ「これからの葛巻に必要なことだ」と夢を見たか？わが町の応援隊は若者や高校生中心、老人は放置状態。参画でなく、参加のみ。町は他から来てにぎわっていても、老人はカヤの外の気分です。皆がそう思っていないと思うか！何か役に立ちたいとか、老人になっても役立っている、生きる喜びを感じる地域には程遠い。老人クラブ（例：いきいき教室）だけが地域の楽しみだが、企画している地区で、3~4地区。会員も減少。やりきれない気持ちだが、年を重ねると、体力がついていかない、、悲しい。（例）10年位前、旧決内村の方の話を聞いたことがある。大根の1本づけを売り出した時、植えて収穫は若い人（ボランティア）収穫した大根を洗うのは、高齢者。大根の毛(?)を取りきれいにするのは、老人の仕事と、地区全体で活動し、手間賃も少し貰える。都会に出ていった人にも声をかけ、ボランティアできてもらい収穫祭で盛り上がる一。そんな町づくりがあったら出来ることに参加し、自分も生きがいを感じたい。デーサービスは、出来るだけ、あとで、、健康寿命を延長する町づくりを希望する。という思う町づくり協力隊と聞かれても終わりの参画もないので答えようがない。人口の半数が高齢者、「くずまきの老人は楽しそうだな」と他の町から言われるような、町づくりをお願いしたい。移住や区恒星の山村留学も大いに賛成しますが、葛巻を今まで支えた高齢者にも残された人生を楽しく過ごせる企画をお願いしたいです。私もやれることはやっていきたい。乱筆乱文。よろしく御読解くださいませ。失礼しました。私の一考：ちょっと前に春に山菜を取り、フキは煮て

皮をむき塩漬けにする。そして売り出していた。ワラビ、ウド、バツケ、ヨモギ、葦、商品にならないだろうか？食文化の見直し等！

- ・明確に回答が選べない項目がある、アンケートの内容に意図が不明（疑問）な項目がある、アンケート集計結果は公表されるのか？
- ・国道281号線（田代一小屋瀬）を早く改良してほしい。医療と介護を充実させてほしい
- ・スポーツの力は大（オリンピックなど）仕事が少ない。
- ・冬期間の除雪。障害がある（視力0）家前道路等の除雪を考えて欲しい。
- ・お年寄りの多い世帯にこのアンケートの質問の漢字や言葉は少々難しく答えにくいと感じました。わが町の発展の為に皆の意見が必要だしこんな意見・思いがあるんだ！という声を聞きだすにはもう少しわかりやすくすればいいのでは？と思いました。とても良いことをしていると思うので。なまいきな意見と思うかもしれませんが私もきちんと答えたいと思ってののですが、難しかったです。
- ・とても難しいものばかりでした・今の世の中コロナで外に出ないのでストレスたまり、町内のイベントそろそろやってもいいころかなと思います。いかがでしょうか？
- ・「夫婦＋子2人」程度の世帯が安定した生活を維持できる収入を得られる職場があればよいと思う。それが無ければ移住定住には限度があると思われる。
- ・幸福なことは戦争がないこと病気ではないこと、自由に話せること、食べれること。もっと幸福なことは仲間家族がいること、健康であること、歌えて、飲めることだろうか。戦争があり、不幸な時代があった。その中でわれわれの先輩方が命がけでがんばってきたことを忘れてはいけない、そして若さに甘えてはいけない。真の幸福とは心から笑えることかな？楽しい企画をこれからもお願いします。
- ・役場職員の接客マナーの向上が必要では
- ・葛巻は余所から来た人を特別扱いする傾向がある（大事にする）。でももどってしまう!!地域の活動（組織、クラブ、サークル）に入らない人も多いと思います。その住民には目（死角）が届いていないと感じる。文化、芸術に触れたいコンサート、映画、衣類（しゃれた）大手スーパーが無く病院用事はほとんど盛岡に出なければならぬので便利な所に住みたいと思います。他町村との交流が少ない為、住民の考え方、意識が低い（狭い）と思います。地域おこし協力隊には賛成している。
- ・なぜSETが共同アンケート者なのか？葛巻推進課の意義がわからない。
- ・葛巻町か岩手町、九戸村へ通勤という事はその職場で送迎などがあるため他

の町・村へ行くという事があると思います。葛巻町には、そのような工場や職場がないので。葛巻町という地域を考えればなかなか難しいことだと思います。娯楽施設も少なく、飲食店も少なく、その飲食店自体後継者も少なく高齢化が進んでいる状況で、これから先も先細りになる事は目に見えているように思います。何か抜本的に大きな大きな展開が必要ではないかと。（えらそうな事を言ってすみません。）なので若者も地元に戻ってくる人が少ないのではないかと（自分の子どもたちにも言えることですが（苦笑）普段思っていることを思うがままに書いてみました。具体性が無くてすみません。

- ・隣近所、現代人自分良ければ他人迷惑考えない人が多いように感じる。各地区行政の指導が必要である。
- ・地元で高校まではあるが、大学、専門学校へ進学する場合、教育費が地元の収入だけではかなり厳しい。このままでは、移住者の方々と子供の中学高校卒業のタイミングで転出する可能性が高い。その辺の支援を行政に検討願いたい。
- ・葛巻は災害も少なく助かっている。今回のコロナのワクチン接種はスピーディーで申し込み方法等、高齢の者もやりやすい方法でとてもよかった。（83歳女）
- ・地域復興活動の取り組みに賛成です。先を見通して、若者の関係人口を創出する視点は、まちづくり、人づくりに重要で葛巻町の将来に希望が持てる事業だと思います。自分もできる範囲で協力参加したいと思いますので、よろしくお願いします。
- ・近所や周りの方の目や話がすごく気になります。（うわさ話や個人情報がすぐ出てくるので、、、）。お年寄りが多いので、新しいことがあってもすぐ否定されたり、嫌味など言われたりするので困ります（一部の方に限られますが、、）。葛巻で仕事をしていると知っている人に見られ、色々評価されるので正直葛巻では働きたくないです（地域が狭いので仕方はないと思いますが）。若い人たちが自由に集まれる場所がありませんと感じています。ミルクとワインのカラーの建物は分かりますが、住宅に使うのはどうかと思います。正直ダサいです。
- ・人が増えることをお祈りいたします。頑張ってください。
- ・町外のNPOさんが関わっているので、ぜひ葛巻町の良さを発信していただきたいと思います。
- ・休耕地が多い。町外から人を呼び込み、就農者に支援することもやってほしい。今後とも新しい取り組みをすべき。

発行 特定非営利法人 SET
発行日 2022 年 2 月

本調査は「令和 3 年度移住促進事業補助金」を利用して行われました。
本調査は葛巻町役場、石田祐教授（宮城大学事業構想学群）、川西論教授（上智大学経済学部経済学科）
の協力のもと行われました

特定非営利法人 SET とは
東日本大震災をきっかけに設立。
陸前高田市広田町に拠点を置き、「人が減るからこそ豊かになる人づくり、まちづくり、社会づくり」
を行う